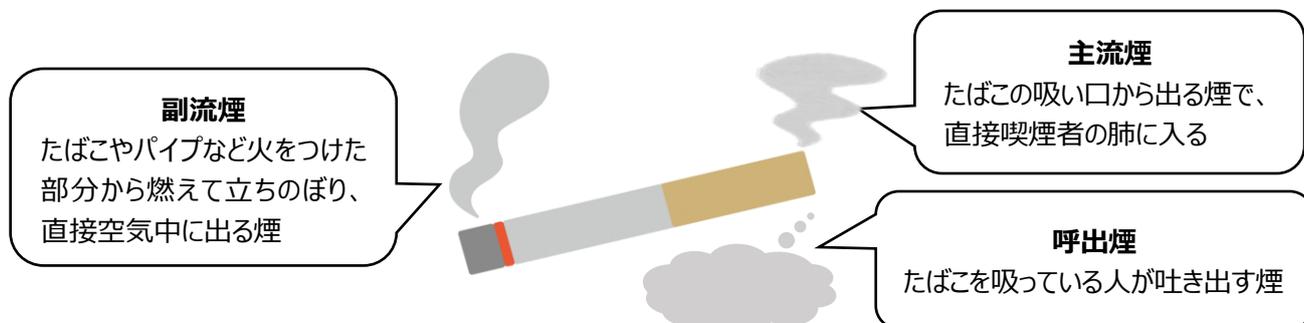


たばこから子どもを守ろう！！

●煙が周りの人を苦しめているかもしれません

たばこの煙には 副流煙・主流煙・呼出煙 の3つがあります。いずれの煙にも、**多くの有害物質**が含まれており、たばこを吸っている人も、その周囲にいる人にも影響を及ぼします。

特に 副流煙 は 主流煙 よりも多くの有害物質が含まれています。



●受動喫煙が子どもに及ぼす影響

受動喫煙によって、子どもは次のような病気にかかりやすくなります。

- ・乳幼児突然死症候群（SIDS）：両親が非喫煙者の家庭と比べ4.7倍起こりやすい
- ・喘息
- ・呼吸機能低下（肺炎や気管支炎）
- ・中耳炎

新しいタイプのたばこ（電子たばこ・加熱式たばこ）にも注意が必要です！

販売開始から年月が浅いため、長期的な健康影響については明らかになっていませんが、電子たばこも加熱式たばこも本人、周囲の人の健康への悪影響が否定できません。



●誤嚥事故の中でたばこによる事故は最も多い！

はいはいやつかまり立ちを始める**6～11か月**の乳児で多くみられています。

たばこに含まれるニコチンは、中毒症状を引き起こし、命に関わることもあります。

たばこを誤飲した場合には、口の中のたばこを取り除き、飲料を飲ませずに直ちに受診しましょう。

どのような種類のたばこか、銘柄やパッケージを持参して、医師等に伝えるようにしてください。

- ・たばこや灰皿を子どもの手の届くところに放置しないようにしましょう。
- ・液体の入った空き缶などに廃棄ないようにしましょう。
(ニコチンは水分に溶けると体に吸収されやすくなります。)
- ・加熱式たばこのスティック等は乳幼児の口に入りやすい形状・サイズです。
手の届くところに置かないようにしましょう。



大切なお子さん、そして自分自身の健康を守るためにも、禁煙を始めてみませんか？

★ 禁煙治療している病院はインターネットで検索できます。